

My-Star Network

輸入車整備工場をサポートする

# Tech plus

Vol.219

2024年9月号

Special Column

金属・カーボン・ゴム・樹脂・革……

## 素材から見た新視点の メンテナンス考



輸入車のイメージを大調査!

ドイツ車二大巨頭「メルセデス・ベンツ & BMW」

# クルマ好きからクルマに詳しくない女性まで両ブランドに抱くイメージを徹底調査! Mercedes-BenzとBMWってどんなイメージ?

## メルセデスファンから見ても BMW は走り好きな人のためのクルマ

メルセデスユーザーから見たBMWのイメージは、走りにこだわったスポーティなクルマという声が多い。高級な印象はあまり感じないものの、足回りやエンジンへのこだわりが強いメーカーという認識があるようです。メルセデスユーザーに比べると比較的若い世代のユーザーが多いことから、クルマ好きな若者が走りを楽しめるドイツ車といったところでしょうか。自分はメルセデスに乗っていても、奥さんには1シリーズや3シリーズを買うという声もありました。BMWユーザーの意見ははっきりしていて、愛車を選んだ一番の理由は走りの良さ。細かく魅力を語ってもらえばいろいろとあるのですが、簡潔にまとめると「ハンドリング」と「エンジン」の2つを挙げる人がほとんど。メルセデスは安全性、高級感、ブランド力の高さなど人によって感じる場所が違うのですが、BMWユーザーには一貫性があるようです。シルキーシックスとも言われる直6エンジンやFR駆動へのこだわりなど、ドイツ車の中でもブレない哲学持っているのがBMWユーザーの心を掴んでいるのかもしれない。クルマに詳しくない一般男性のイメージとしては、頑張れば買える身近な輸入車という声が多く、スポーティなクルマというイメージも定着しているようです。



Mercedes-Benz  
ユーザーから見た

## BMWのイメージ



- 乗ったことはないが若い人が楽しむクルマというイメージ
- スポーティで攻撃的な雰囲気があるように思う
- 足回りにこだわっていて運転が好きなお客のためのクルマ
- スタイルにおいて今も昔も一貫性を感じられる唯一のメーカー
- 直6エンジンなど走りへのこだわりが非常に強い
- 高級というよりはスポーツ性を意識した内装
- 一度はMシリーズに乗ってみたい
- 昔に比べるとベンツも庶民的なクルマになったが、その頃のBMWは頑張れば手が届くガイシャというイメージ

## 女性から見た /

### BMWのイメージは?

一般女性から見たBMWのイメージを聞いてみました。BMWならではの走りの良さをいくら語っても分からない女性には、どんな風に見られているのでしょうか。

- 彼氏に乗ってほしい! (20代)
- 年配の方が乗っていきそうな気がする (20代)
- 自分でも乗ってみたいと思う (30代)
- ガイシャだけど身近で手が届くクルマ (30代)
- プチセレブって感じ! (30代)
- 色で例えると「青」 (30代)
- デザインがスタイリッシュで素敵! (30代)
- クルマ好きが乗っていきそう (30代)
- 退職金で買うクルマ (40代)
- ライフスタイルにもこだわってそう (40代)

一般女性からのBMWウケは良いようで、彼氏や旦那に乗って欲しいクルマとしてBMWを挙げる人も少なくありません。自分でも乗ってみたいという声もありました。BMWの一番の魅力は走りにあるというのがほとんどのユーザーの意見ですが、それを女性に語っても分かってもらえません。それでも女性人気が高いのは、知的でオシャレな感じがする、ライフスタイルにもこだわっていきそうといったイメージが確立されているからなのかもしれません。メルセデスが誰もが認める高級車だとすると、BMWはこだわりある男のオシャレなクルマといったところでしょうか。

## BMW ユーザーに聞いた

### Q. 愛車を選んだ一番の理由は?

- BMWらしさをシンプルに体感できる
- 憧れのコンプリートカーだったこと
- マニュアルミッションのクルマだから
- 学生の頃からBMWに憧れていた
- FRだったこと
- シルキーシックスに魅了されてからずっとBMW
- 自分が積極的に走りを楽しめるクルマだったこと
- デザインが洗練されていてカッコイイから
- ファミリーカーとして使えつつ、自分も楽しめるから

### Q. 愛車のお気に入りポイントはどこ?

- 落ち着いた印象のデザイン
- 4気筒で速くもないのに満足してしまう
- シルキーシックスの滑らかなフィーリング
- 疲れていてもアクセルを踏むと楽しくなる
- やっぱり軽快なハンドリング!
- 高速での安定性に優れている
- 走りはもちろんだが、実用性も高い
- ボディのわりにハンドリングに優れている
- デザインが好き。所有する満足感がある

### Q. ブランド力の高さを感じるのはどんな時?

- 人から乗っているクルマを聞かれた時
- 古いBMWなのでブランド性は意識していない
- ディーラーに出入りする時
- どの世代に乗ってもコンセプトが明確に買われている
- 高級で知的なイメージを確立しているように思う
- 若々しく背伸びして乗っている感じがしない
- エンジンなど技術力の高さを感じる時
- 自分がクルマに負けないようにしようと思った瞬間
- クルマを知らない人でも認知度が高いところ

「メルセデス・ベンツとBMWは自動車メーカーとしてドイツを代表する二大巨頭ですが、それぞれどんなイメージを持っていますか?」。ここではクルマ好きの視点と、クルマに詳しくない一般人の視点から両ブランドに抱いているイメージを調査してみました。想像通りか、それとも意外な発見か、自分のイメージと照らし合わせてみて! ●調査協力= GERMANCARS

## BMWファンにとっては身近に感じないクルマ!?

BMWユーザーから見たメルセデスのイメージでは、BMWユーザーは走りを重視している傾向が強いため、メルセデスに対しては快適指向、走りがつまらないということを挙げる人が多かった。誰もが知るブランド力の高さは認めつつも、敷居が高い、自分が運転するよりは後ろに乗るクルマといった印象。社長や役員を送迎用といったイメージが強いようです。もちろん車種によってイメージは変わってくると思いますが、どこか遠い存在のように感じているのかもしれませんが。一方、メルセデスユーザーは昔からの憧れ、安全性、実用性、高級感、走行安定性、ブランド力、ステイタスといったキーワードが中心。「いかにもドイツ!」といった高級車で、機械としての良さや自動車メーカーとしての歴史の長さを挙げる人もいました。良いモノを選びたいという思いが強い傾向もあり、ステイタスやブランド力は全く気にせず同じクルマに長く乗り続ける人が多いです。メンテナンスをしながら長く使えるというのは、とくに角目世代までのメルセデスに反映されているので、そうしたファンの多い声が反映された結果となりました。

## Mercedes-Benz ユーザーに聞いた

### Q. 愛車を選んだ一番の理由は?

- 洗練されたスタイルとクルマとしての良さ
- 友人に勧められて購入。乗ってみて違いを感じた
- デザインと同じクルマをあまり見かけないこと
- 抜群のカッコよさ!
- ブランド力と品質の良さ
- 昔からの憧れだった
- 以前から一度は乗ってみたいクルマだったから
- ドイツ車らしい質実剛健なところと上品なデザイン
- 安全性などクルマ作りにおけるポリシーを持っている

### Q. 愛車のお気に入りポイントはどこ?

- 取り回しが良く実用性が高い
- 走行安定性が抜群にいい
- 国産車にはないしっかり感
- スタイルとトルクのある走り
- E280 ならではのバランスの良さ
- 想像していたより軽快に走るところ
- 安全性が高いから家族を乗せても安心
- 運転している時に感じる安心感
- クルマとしての基本性能が非常に高い

### Q. ブランド力の高さを感ずるのはどんな時?

- 道を譲ってもらった時
- W124に乗っているがブランド力の高さは感じない
- 内装の作りにこだわっていて高級感がある
- お金持ちだと勘違いされた時
- クルマを知らない人にとっては「ベンツ=高級車」
- 好きで乗っているからブランドは意識していない
- 近所からの目を気にしてしまう時
- 知り合いなどに、乗っているクルマを聞かれた時
- 自動車メーカーとしての歴史



BMWユーザーから見た

## Mercedes-Benzのイメージ

- 自分が運転するというよりは後ろに乗るクルマ
- 走りは楽しめないが、安全で快適なクルマ
- 現代のベンツよりも、角目やタテ目のほうが威厳があった
- 安全性、快適性、実用性など全てにおいて考え抜かれている
- 部品が高くてメンテナンスが大変そう
- クルマ全体としてこだわって作っていると思わせる部分が多い
- 総合的に見ると、世界一の自動車メーカーだと思う
- 「ベンツ=大排気量」で飛ばすクルマ
- 一般的に見てもブランド力は高いと思う

## 女性から見た /

### Mercedes-Benzのイメージは?

クルマ好きには男性が多いですが、一般女性はメルセデス・ベンツに対してどんなイメージを抱くか聞いてみると、男性が抱くイメージと近い傾向にあるようです。

- 色に例えると「黒」(20代)
- オシャレ! (20代)
- 友達に自慢できそう (20代)
- 経済力がありそう (30代)
- 高級車なので身近に感じない (30代)
- 彼氏や旦那が乗っていると優越感がある (30代)
- お金持ちのステイタス (30代)
- 重厚で堅い感じがする (30代)
- 運転しやすい (40代)
- 安全なクルマというイメージがある (40代)

メルセデス・ベンツのイメージについて、一般女性に聞いてみると、経済力がありそうとか、お金持ちのステイタスといったような意見が圧倒的に多かった。旦那さんや彼氏がメルセデスに乗っていると優越感を感じる人もいます。初めてのドライブデートにメルセデスで迎えに来たら「どんな仕事してるの?」と聞きたくなくなるという声もありました。Sクラスは法人車両として使われることも多いですから、高級車としてのイメージが定着しているんでしょうね。男性が抱くイメージと近いのがメルセデスの傾向で、一般的にも高級車というイメージがしっかりと定着しているということなのでしょう。



金属・カーボン・ゴム・樹脂・革……

PART.01

## 素材から見た新視点のメンテナンス考

クルマを構成するパーツには、実に様々な素材が用いられている。それは質感だったり、耐久性だったり、はたまた環境性能だったり、様々な角度からの試行錯誤の上に、必然として成り立ったものであるはずだ。ならばその「素材」を知ること、効果的なケア方法も導き出されるのである。まずはPART01としてエクステリア編を紹介しよう。インテリア編については次号で解説していく予定!

### クルマのパーツに関する「なぜ？」の根本に迫る!

クルマは部品の集合体であり、その部品のひとつひとつを見ていくと、様々な素材が使われている。内外装の樹脂パーツ、ホースやタイヤなどのゴムパーツ、ウッド、革、布……ここですべてを挙げられないほどだ。例えば、ドイツ車と国産車の新車価格の差は大

きいけれど、それはなぜか? もちろん、エンジンや足回り、ボディといったハード面の差は大きいけれど、もっと細かく見ていけば、使われている素材の差も意外にも大きいのである。ドイツ車らしい高級感や上質感を出すために、フェイクではない本物のウッドを使っ

たり、レザーシートに使われている革も高級な素材が使われている。ボディの塗装ひとつを見ても、着色だけではなくボディを保護するという役目もある。そこで本企画ではドイツ車に多く使われている素材から、そのケア方法について部位別に見ていきたい。



## 塗装は着色以外にも ボディを守る役割を 果たしている

使われて  
いるのは  
こんな素材

自動車の塗装は、カラーイメージもさることながら、ボディをサビから守ったり表面を滑らかにしたりと、機能的にも重要な役割を担っている。昔は溶剤にシンナーなどを用いた油性塗料が主流だったが、近年では環境に配慮した水性塗料も開発されている。

### 素材に見る ケア方法は？

塗装には大きく二つの目的がある。一つは、ボディの素材を劣化から守ること。ほとんどのクルマのボディは鉄でできているので、サビからクルマを守るためといってもいい。もうひとつは、外観の化粧として役割。鉄板むき出し色もある意味迫力があっていいかもしれないが、ほとんどは何らかの着色がされている。そういう理由で施されている塗装は、もちろん塗料で行なわれる。では塗料とは何かというと、これは何らかの樹脂でできていて、大昔にはラッカーやエナメルといった塗料も使われていたが、現在ではまずウレタン系の樹脂を使った塗料だと思って間違いない。着色には岩石や金属から作られる顔料が使われる。この調合技術に優れた世界的企業は世界に数社しかなく、BASFというドイツの企業はその中でもトップクラス。ポルシェ好きには有名なガラスリットも同社の商品名である。

さて、顔料で着色された樹脂と溶剤で構成された塗料は、溶剤が乾燥すると樹脂分だけが残る。言ってみれば乾いた接着剤と同じようなイメージだ。それゆえ塗膜のケアは、樹脂よりも硬いもので擦らない、樹脂を冒す酸性やアルカリ性の強い液体や環境から隔離すべく、ワックスなどで薄い皮膜のバリアーを作っておくことが大切となる。



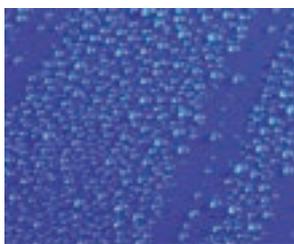
洗車の時はまず水洗い

砂やホコリがボディに付着した状態でいきなり拭いたりすると、確実にクリア層を傷付ける。クルマを洗う時は、まず水をかけて表面の汚れを落としてやる必要がある。



大気中の酸が塗装を壊す

特に降り始めの雨には、大気中に排出された硫化物などの化学物質が大量に含まれている。この雨ジミを放置しておく、塗装だけでなく下地の金属も腐食させる可能性がある。



撥水コーティングの危険性？

水をバンバン弾く撥水コーティングは、見た目にも効果が分かる気持ちの良いものだが、水滴がボディに残るとその部分がウォータースポットの原因にもなってしまう。いわゆる「ウロコ」と呼ばれるこのシミは、雨や水に含まれるカルシウムが空気に触れることで発生するもので、一度ボディに付着してしまえば通常の研磨ではまず落ちない。これを避けるためには、同じコーティングでも水を「切る」特性を持つ、親水性コーティング剤を使ってみるなどの工夫が必要になる。



## ガラスには 砂と同じ成分が 含まれている!?

使われて  
いるのは  
こんな素材

主にガラスやステンレスで構成されている部分。近年ではフッ素化合物によって撥水性を持つものなども登場してきている。

### 素材に見る ケア方法は？

ウインドーは、当たり前だがキレイにしておくべし。ガラスは二酸化ケイ素が主成分で、非常に硬いという特徴を持っているが、砂粒の中に多量に含まれている石英もまた、二酸化ケイ素が結晶したものだ。それゆえ、砂まみれになった窓をジャリジャリいわせながらワイパーを作動するなんぞ、ガラスをガラスで擦って傷付けてるようなもの。ワイパーに積もった砂埃はウエスで拭う習慣をつけておくといい。

またドイツ車に多い青いドアミラーは、ガラスの表面に鏡面加工してある。ガラスよりももっと傷つきやすいので、決して砂まみれのウエスで拭いたりしないようにしよう。



ギラつきの原因は油脂分

油膜は道路や大気の流れなど様々なところから付着し、ギラつきなどで視界が大きく妨げられる原因となる。見にくくなったら油膜取りを行なおう。



ケアの基本はボディと同じ

ウインドーガラスもボディ同様、砂やホコリを引きずると傷ついてしまう。窓の汚れはできればワイパーウォッシャーではなく、洗車で取り除きたい。



メッキやアルマイトも、塗装と同じように内側の素材の保護と外観の化粧という二つの意味を持っている。塗装では出せない光沢が実現できるので、ドアモールやフロントグリルなど、デザインの要になる部分に使われることが多い。

さて同じ目的で使われる両者だが、モノ自体はまったく違う製法でできている。まずメッキは、金属の表面に別の金属の被膜を電気的に密着させている。上質な光沢が求められるクルマの場合は、まず下地にニッケル被膜を作り、その上にクロームの被膜を重ねる。ニッケルはクロームの密着性を良くするために施される。いきなり母材にクローム被膜をといかないところが、電気的な特性を使ったメッキの難しいところであり、当然、コストもかさむ。一方のアルマイトは、アルミの表面に酸化被膜を形成させたもので、アルミの耐腐食性を20倍くらいに向上させる。色づけは、アルマイト被膜の表面の凹凸に染料を浸透させるというタトゥーのような方法で行なわれている。

どちらも専用のコンパウンドで表面の酸化物や汚れを落とすのが手入れの常套手段だが、特にアルマイトは被膜の層がメッキほど強くないので日頃からワックスなどで外気を遮断しておくことが大切だ。

## 酸化物をシャットアウト することがメッキの メンテナンスポイント

使われて  
いるのは  
こんな素材

メッキとは、金属やプラスチックの表面に、金属の薄膜を被覆した表面処理のこと。元の素材を酸化などから防ぐという機能面のほか、見た目の質感や高級感をアップさせるという目的でも用いられる。処理方法や使用金属は多種多様だ。

### 素材に見る ケア方法は？



バイクユーザーには知る人も多い「ネバーダール」のような綿タイプの研磨剤も有効。ペースト状のものに比べ、手軽で磨き残しも少ないのがメリット。



基本的なケア方法としては、素材を問わず金属磨き用コンパウンドを使って磨くのが効果的だ。

### 「白っちゃける」原因と対策



古いクルマのメッキ処理されている部分を見ると、白くくすんがや紫外線などによっても、コンパウンドで磨くことによってある程度復活させることができる。



樹脂パーツは素材そのものに着色できるので、鉄板のように塗装せずに使用することもできる。青い鉄板を作ることはムリですが、青い樹脂を作ることは可能となる。けれども外装内装にかかわらず、まったくの未塗装で使われている樹脂パーツは、目立たないところに使用される部品や、機能部品に限られる。それ以外の樹脂パーツは、必ず塗装されていると思って間違いないだろう。塗装されているとなれば、ケアの方法は外板と同じ。基本は汚れを落として、ワックスなどで保護被膜を作ってやること。ただし樹脂パーツは柔らかいので、鉄板に使うような硬くて強い被膜の塗料は使えない。あまり頻繁に研いでいると剥がれてしまうので、樹脂パーツには被膜が長持ちするコーティング剤がお勧め。

## 金属に比べて素材が 柔らかいため それに合わせたケアが必要

使われて  
いるのは  
こんな素材

一口に樹脂と言ってもその範囲は非常に幅広いが、ここで用いられる素材は主にポリプロピレン（PP）という合成樹脂。水や熱に強く、腐食しにくいといった特長を持っているが、逆に弱点としては紫外線に弱く、太陽光で劣化する性質を持っている。

### 素材に見る ケア方法は？



#### 下回りも防水コーティング

なし地仕上げの下回りは、水や泥汚れを付きにくくするために、ワックスがけを行ってしまうのもいいだろう。



#### ツヤ出しはアルコール系を使う

劣化した樹脂部分の保護やツヤ出しには、水性・油性ワックスよりもアルコール系のツヤ出し剤が有効。有名なところではワコーズ「スーパーハード」などがそれに当たる。

会員の皆様へ

セイルシステム株式会社

マイ・スターネットワーク事業部

## 「AdSip」サービス終了のご案内

拝啓

平素より格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

この度、輸入車整備工場検索サイトの電話問い合わせサービス「AdSip」につきまして、2024年9月30日をもって終了させていただく運びとなりました。

「AdSip」サービスは、皆様により良い顧客対応を提供するため、2年以上にわたり運営してまいりましたが、近年、電話による問い合わせ件数が大幅に減少し、サービスの利用実態がほぼなくなっていることを確認いたしました。このような状況を踏まえ、会員様へのサービス見直しの一環として、AdSipサービスを終了する決定に至りました。

何卒、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。ご不明点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

引き続き、当サイトならびに他のサービスをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具



カスタムコーディングは、車両のパフォーマンスや機能を個々のニーズに合わせて最適化することができるサービスです。

たとえば、ライトの点灯タイミングやインフォテインメントシステムの設定を変更することで、ドライバーにとってより快適な運転体験を提供できます。

さらに、こうしたカスタムサービスは、標準的な整備メニューにプラスアルファの価値を加え、顧客満足度を高める強力な手段となります。



: Vediamo (Mercedes-Benz ),  
E-SYS (BMW )

カスタムコーディングを新たなサービスとして取り入れることで、整備業者としてのビジネスの幅を広げ、他社との差別化を図ることができます。これにより、お客様に対して付加価値の高いサービスを提供し、リピーターを増やすことが期待されます。

マイスターネットワークでは、AUTELスキャンツールの販売を行っており、今後Mercedesエンジニアリングツールのレンタルを計画しています。この機会に、ぜひカスタムコーディングを新たなビジネスチャンスとしてご検討ください。



クラッチ、ブレーキ、油圧アクチュエータを製造するイタリアの多国籍企業で、OE自動車部品およびアフターマーケットメーカーです。1982年にニコラ・ディ・シピオによってイタリア東部のマノッペッコで設立されました。

ライカムは、ハイテク摩擦材料、ブレーキアクチュエーター、推進システムのトルク管理用トランスミッションクラッチ、およびさまざまな車両の冷却アプリケーションの設計、開発、製造のソリューションプロバイダーです。1982年、ペスカーラ近郊のマノッペッコ・スカロの生産現場にある小さな機械工房で設立された私たちの活動は、**すぐに世界中に広がり、イギリス、インド、中国、トルコに最先端の生産拠点を持つようになりました。**創業以来、ライカムは常に製品とサービスの品質と安全性に大きな注意を払っており、最も重要な国際産業の専門家パートナーであり、信頼できるサプライヤーになることができました。

世界のライカム



Manufacturing sites worldwide

世界中の製造拠点

8点!

ライカムは、40年以上にわたり自動車用途の摩擦材を製造してきました。ライカムの製品は、世界のトップ自動車ブランドの幅広いモデルに新車装着品として指定されています。

ライカムは、安全と環境要件に準拠したドラムブレーキとディスクブレーキの両方の製品を開発・製造することができます。

RAICAM製商品  
多数在庫ございます!



AUDI A5

使用可能

RD01135



RAICAM製商品  
多数在庫ございます！

ブレーキローター  
在庫ございます！

VW POLO 使用可能

フロント RD00915

リア RD01188

BMW F10 使用可能

フロント RD01519

リア RD01525

MB W156 GLA

使用可能

RA.1021.0



ブレーキパッド  
在庫ございます！

BMW MINI R60 使用可能

フロント RA.0848.0

リア RA.0854.0

FIAT 500 使用可能

フロントのみ RA.0446.3

ロジスティックパーツセンター

TEL : 06-6652-2400

FAX : 06-645-0330

● COVER MODEL : Mercedes-Benz SL63 AMG



SAIL SYSTEM

セイルシステム株式会社  
〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATCビル ITM 棟 9 F K-2

